

# クラブ通信

Vol 159

2021年8月



ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

<https://osaka.seikatsclub.coop/>

TEL. 072-641-5547



|                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 6月度実績報告(5/21~6/20) |                       |
| ◎組合員数              | 19,335人(6/20現在)       |
| 加入                 | 168人                  |
| 脱退                 | 107人                  |
| ◎供給高               | 334,701千円(計画比 108.0%) |
|                    | (前年比 91.6%)           |
| ◎一人当たり利用高          | 17,347円(前年比 90.9%)    |

新企画



～生活クラブは新型コロナでもめげません～

## オンライン生産者交流会

7～11月 連続5回開催中!

(オンライン生産者交流会  
実行委員会)

多くの組合員に参加してもらい、楽しく生活クラブ運動を知る機会にしたいと思います。

※ いろいろな事情で家を空けにくく、企画に出かけるのが難しい組合員も気軽に参加できる。

※ 遠方で来阪できない生産者ともオンラインなら画面越しに交流できる。

※ 現状、会場では難しい「試食」を家で実食したり、実演したりしながら参加できる。

昨年に続き、21年度も新型コロナ蔓延の影響で「生活クラブ生協フェスタ」は中止せざるを得ませんでした。とても残念です。

しかし、私たちはこの状況下でどうしたら生産者と交流し、組合員に生活クラブ運動を伝えられるかを考え、「オンライン生産者交流会」開催を決めました。

オンライン交流会ならではの利点といえば…

開催時間: 10:00～12:00

第1回 7/19(月)

オルタートレードジャパン  
(ATJ) 《開催済み》

- ・ バランゴンバナナとエコシュリンプ(エビ)を中心にATJの民衆交易の取り組みについて学びました。

第2回 8/24(火)

みえぎょれん販売

《参加申込締切済み》

- ・ 海苔を中心に学び、海と山の環境を守る取り組みについても聞きます。
- ・ 市販のふりかけと消費材の違いとは?
- ・ 子どもと「おにぎらず」をつくろう!

第3回 9/9(木)

ハイム化粧品

《参加申込8/20締切  
※まだ間に合います》

- ・ 化粧品に込めた生産者の思いとは?
- ・ 夏のダメージ肌・マスク肌荒れのケアを知りたい。
- ・ 頭皮マッサージもやってみよう!

第4回 10/13(水)

高橋徳治商店

《チラシ配布9/7～10》

- ・ 添加物の宝庫と言われる市販の練り製品と消費材の違い。
- ・ 東日本大震災からの復興、地域の雇用・障がい者雇用を創出する取り組みについて高橋さんの話を聞きます。

第5回 11/10(水)

豆伍心

《チラシ配布10/12～15》

- ・ 私達の地元、高槻の生産者です。
- ・ 産地指定の国産大豆100%。こだわりのにがりを使って濃い味の豆腐を作っています。
- ・ どんな企画になるのか、お楽しみに!

※ハイム化粧品交流会に参加希望でチラシの申し込みを忘れ

た方は、こちらのQRコードから申し込んでください。



【お詫び】クラブ通信158号で開催日を10/12(火)とお知らせしていましたが、正しくは10/13(水)でした。お詫びして訂正いたします。



**Q.** 関係団体等出資金の明細と貸付金の明細にある「おおじらかわエネルギー合同会社」はどのような会社か？

**A.** 長野県大田川で小水力

**Q.** 容器包装のごみは可能な限り減らしていくことが大切である。ただ、食品トレーのリサイクルは大きな仕組みの中で動かしていかなければ立ち行かない。まずは今私たちが持つ仕組み「グリーンシステム」※の推進を通じて「ゴミ削減を進めていきたい」。

※びん・鶏卵パックのリユース、仕分け用ビッキング袋のリサイクルを行う仕組み。

**Q.** 発電の開発を進める「さとやまエネルギー株式会社」の発電事業主体として設立された。生活クラブ連合会や生活クラブエナジーは、多様な電源開発やより安定度の高い電源確保を進めるため、この開発計画に参画することになり、生活クラブ生協大阪でも出資・融資を行った。

**Q.** 「持続可能な開発やパリ協定」の目標達成に向けてお肉のトレーが活用できないものか。ゴミになるのが気になり消費を控えてしまう。

**Q.** コブロック、地区、それぞれの活動を強化とあるが、活動の担い手が不足していると思う。どうやって活動を強化していくのか？

**A.** 委員不在地区では活動を通じ情報伝達や交流ができない状況にある。まずは委員の役割の必要性を伝えると共に「活動つて楽しい」委員をやることで知識を得たと思う組合員が増え、いくつかに委員募集をおこない活動の拡がりをめざしていきたい。

**第53回通常総代会**

《第1号議案 2020年度活動報告承認の件》

《第2号議案 2020年度決算報告及び剰余金処分案承認の件》

《第3号議案 2021年度活動方針案及び事業計画案承認の件》



丹精國鶏

～私たちの丹精國鶏、あなたは食べていますか？～

**丹精國鶏まるごと学習会**

6/25 参加:42人

大阪市中央公会堂



山口県・秋川牧園の話画面越しに聴きました。

秋川牧園は「口に入るものは間違っていない」という信念のもと、昭和47年の創業以来ずっと「安心・安全」な食べ物を作り続けています。

鶏に与えるのは、ポストハーベストフリー・遺伝子組み換えでないトウモロコシと大豆を主体にした植物性の飼料。鶏肉に臭みがないのは動物性飼料を与えていないからだそうです。飼育環境を整えることで健康に育てるので抗生物質は使いません。鶏舎に

雛を入れた後は開放型鶏舎の温度管理に細心の注意が必要という話には、名前通り丹精込めて育てられていると感じました。

飼料用米の活用にも取り組み、「糞→堆肥→飼料用米栽培→鶏の飼料」という循環型農業を実現し、飼料の自給率向上につながっています。私たちが丹精國鶏を食べることは、食べる人の健康のためだけでなく、遺伝子組み換えや国内自給率の問題解決にもつながっていることが、わかりました。

参加者からは、「丹精國鶏を使った加工品を利用している」「丹精國鶏のレバーは臭みがなく新鮮なので、下処理が簡単」「利用の少ないレバー・砂肝も部位バランスを考え、余すことなく食べていきたい」という声がありました。

(広報委員会 田上綾子)

★冷凍アイテムの上手な解凍のコツ★

冷蔵庫で8時間ゆっくり解凍。急ぐ時は流水解凍でもOK。ドリップに旨み成分や栄養が溶け出してしまうので、ドリップが出る前に調理しよう。

…リモートで参加…

**(株)秋川牧園**




代表取締役社長 秋川正氏

講師 佐藤尚志氏

HP: (秋川牧園)

<https://www.akikawabokuen.com>

Youtube 動画: (生活クラブ連合会)

国産鶏種の持続可能な生産と消費へ

「丹精國鶏」

**これから一緒に活動しましょう！**

**21年度就任 新役員紹介**

6月の総代会で決定した方針に沿って、計画達成に向け共に活動するリーダーです。

**井上紗代 (平野ブロック) ブロック担当理事**

何も分からない私が理事を受けてみようと思ったのも皆さんがいるからこそ。人とのつながりで活動が広がります。



**大嶋恵美子 (香里ブロック) ブロック担当理事**

生活クラブで消費材の事だけでなく社会に目を向けるようになりました。さらにもっと学習していきたいです。



**岡田宜子 (茨木ブロック) ブロック担当理事**

生産者と組合員の想いが込められた消費材たちを、地区・支部と共に多くの人達と共感していきたいです。



**谷田雅代 (千里ブロック) ブロック担当理事**

子どもの頃から身近だった消費材が今もあることが嬉しいです。家庭の消費は社会と直接つながっていることを伝えたいです。



**常務理事 吉見幸樹**

“協同”を基本にした共同購入を推進します。



**監事 太田佳子**

持続可能な生協の発展のために、一歩離れて見るように心掛けます。



**大河内麻美 (平野ブロック) NON-GM委員会担当理事**

まだ組合員歴も知識も浅いですが、深く学び、安心できる食や環境を次の世代に繋げていけたらと思っています。



**天満富美枝 (茨木ブロック) 環境委員会担当理事**

地球環境を良くするために、まず目の前にいる人の困り事が少しでも改善できるように、心を開いて真摯に取り組んでいきます。



**松下典子 (豊能ブロック) エッコロ委員会担当理事**

一人ひとりが出来ることを考え少しずつでも実行していく事がより良い社会を作っていくという思いを持って活動していきます。



**学びの期間で暮らしをよくなる知識をGet!～**

**活動する委員の研修(学習会)開催しています**



6/28 参加:20人

**千里ブロック「学びの期間」F学習会**

〈参加した新人地区委員Mさんの感想〉

野菜は、栽培期間中化学合成農薬・化学肥料不使用で旬だからおいしい。豚肉は低ストレス・指定配合飼料で飼育され鮮度バツグン。その豚を使用したウインナー類は食品添加物不使用。生産者は安心安全な消費材作りのために、愛情を持ち、手間をかけ工夫をしていることが分かりました。

様々な安心安全に疑問を覚える世の中ですが、家族が安心して暮らせるよう消費材を利用し、生産者を応援していきたいと思いました。

毎年、地区委員や専門委員を対象に「学びの期間」を設けて学習会を開催しています。

活動に必要な知識を学ぶ場ですが、毎日の生活に役立つことばかり。食べ物のことだけでなく、エコライフ活動の各委員会による、エネルギー・環境・遺伝子組み換え(GM)の問題やエコロ

委員会による福祉、たすけあい(共済)の学習会も順次開催します。

これは活動という名の社会学習であり、役得です！専門委員も他委員の取り組みについて学び、視野を広げる機会となります。あなたも活動しながら一緒に世の中のことを学んでみませんか？

(広報委員会 小松原千恵)

◆◆各地区や消費材・エコロ・環境・自然エネルギー・NON-GM・広報の各専門委員会では委員を募集しています。興味のある方は **組織運営課 072-641-5547** までご連絡を！





7 月

|      |         |       |                   |          |
|------|---------|-------|-------------------|----------|
| 会員数  | 10,442人 |       |                   |          |
| 給付状況 | 消費材の破損  | 5件    | 健康診断補助            | 0件       |
|      | 地区      | 1件/1人 | 活動に伴う車の使用に対する補償   | 0件       |
|      | 託児      | 1件/1人 | 暮らしのたすけあい         | 27件/9人   |
|      | サークル    | 0件/0人 | 日常的なたすけあい暮らしのサポート | 48時間/11人 |

エッコロ事務局 ☎/FAX 072-641-5811  
月・火・木(10～15時)



### エッコロ共済・連携福祉団体紹介 ①

エッコロ共済には、連携する福祉団体による暮らしのサポートがあります。共済加入者が利用する場合、費用の一部を補てんします。(詳しくはエッコロ共済ガイドブックをご覧ください)

今回から団体ごとに紹介していきます。

《香里ブロック》

大阪高齢者生活協同組合 ほっとステーション御殿山 ☎072-898-0501

世代や障害の有無に関係なく、人が人として豊かにいきいきと元気にくらせる「まち」をみんなが手を結び合ってつくる。そんな願いを実現するために活動しています。

活動の3つの柱は『①福祉 ②仕事 ③生きがい』生活にかかわるお困り事(生活支援、子育て支援、高齢者支援)をお手伝いします!

まずは、なんでもご相談ください。枚方市より「ひらかた生き生きマイレージ・生活支援員養成研修」も委託されています。

枚方市内に2か所、地域の集いの場「街角デイハウス」も運営しています。

※エッコロ共済加入者は、月末に発行される消費材請求書にエッコロ掛け金100円の記載があります。ご確認ください。

### ～エッコロ共済「暮らしのサポート」利用事例～

◆病院への送迎と付き添い

◆病気療養時の子どもの世話

◆骨折し自由が利かない時の掃除

困った時はご相談ください!



エッコロ共済ガイドブックより抜粋

※「2050年カーボンニュートラル」  
政府は、脱炭素社会の実現を目指して2050年までに温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロを宣言

が「ポーッと生きてんじゃねーよ!」と気合を入れ直している。(U)

新しい生活様式と言われて二度目の夏。オリンピックも有り、ワクチン接種なんやかやと騒がしい。  
このどさくさの中、「2050年カーボンニュートラル」※という大義名分に隠れ、密かに原発推進の動きがみえている。原発事故の廃炉にかかる費用・期間は大きく修正(増額・延長)され見通しも立たず、私たちに原発関連費の負担増も待っているの  
にまだそんなことを...

### 編集後記



理事会報告  
6月29日 大阪市中央会館  
○エッコロ委員会  
「21年度学びの期間C学習会ハグカフェ」開催を決定  
○オンライン生産者交流会実行委員会  
「みえぎよれん販売」生産者交流会開催を決定  
○NON-GM委員会  
「種苗への遺伝子操作表示を求める署名」の取り組みを決定  
○夏の共済キャンペーン計画(6/14～8/7実施)を確認

■2021年5月号

### 「特集」身近に広がる化学物質、どうつきあっていくのか

身近なところに化学物質が使われていることに驚きました。化学物質過敏症のことも気になりました。できるだけ化学物質を体の中に入れたくないです。

テレビ、冷蔵庫、エアコン等、ないと困るものもありますが、「香りがいいから」「臭いが消えるから」「防虫のため」と使っているものが本当に必要なかどうか、代替品はないのか考えていこうと思いました。

(高槻北地区 平井扶佐子)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。